

かがやき

令和5年3月 22日(水)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO 17

日々、前向きに。

これからも続いていく長い長い「成長」の路。

3月に入り、1年間のまとめと次年度への準備が進んでいます。大まかにみるとかがやきでのまとめでは、「行動の枠組みの理解」「自分への気付き・苦手と得意」「気持ちの言葉」「こんなときどうする?個々の事例から考えよう」「0か100ではない考え方」「報告・連絡・相談」等々を中心に指導の内容を振り返っています。その中で「行きつ戻りつ」の繰り返しでありつつも一人一人の成長を強く感じます。先日帰り道でかがやきに在籍していた卒業生(中学生)にあいさつされました。「あれ?A君元気?」「あ~先生じゃん。元気です。」「今帰りなの?ちょっと遅いじゃない。」「あ~、ちょっと居残り済ましてきてさあ。。。」「がんばってた!」「あ~まあ、そうです!」「じゃあまた!」「はい!」ちょっとした会話ではありましたが、A君の在籍時代をふと思い返し、中学生になって日々学校生活で奮闘していると想像できるA君の後ろ姿が以前よりもぐっとたくましく見えました。小学校を卒業しても当然長い長い道なき道を進む成長の路は続いていきます。一つ一つ「社会」への階段を子供達は登っていくわけですが、小学校時代はその最初の部分にすぎません。小学校時代の生活の中で日々様々な「ドラマ」や「事件」もありますが、子供達は(もちろんご家庭の応援を受けながら)日々たくましく長い長い「成長」の土台を作っているのだと彼の背中を見ながら感じました。



「きみの気持ちや感情に言葉が追いついてきた。 今にして思うと言葉で言える。」

先日、他校での高学年小集団指導の際に以前より自分で成長できたことについて話をする場面がありました。1年を通しての成長を最初は教師が言葉を補い、「そうかなあ」くらいに本人たちが自覚できるようにしていく指導の流れではありましたが、振り返りを始めていくと過去の自分の行動や気持ちについて具体的な言葉が返ってきました。中学年の時にいろいろあった A 君。「マジであのときはなんだっただろ」「確かに怒られることはあったけど、怒られるのは怖かったなあ」「～先生には申し訳ないと思うよ。今は」。同じく B 君。「教室の中の音がすげえ気になってイライラしてた。」「その周りにいたヤツの声も大きくてさあ」「だからものに当たったり教室出てたりしてた。」「今は全然そんなことないけどね。」こうした言葉はその当時の記憶の一場面であり、前後のことの全てがわかるわけではありませんが、当事者の子供の真の部分でもあるように思いました。そして何より今かつてのことをマイナスだけの視点ではなく、客観的に捉えることが出来ている点はプラスの成長や経験でもあると思いました。小集団指導の中では、当時、まだまだ自分の内面を言葉にすることは難しかった。だから困ることもあった。自分も困った。しかし、そのことを今乗り越えてきた。気持ちや感情に言葉が追いついてきたし、このことが成長でもある。このことを整理しました。諸説ありますが客観的な言葉で自分のことを表出できるようになるのは5年生以降とも言われています。今回の彼らの姿から改めて子供達の「行動」や「発言」が何を訴えようとしているのかしっかり耳を傾けていくことの重さを感じた3月最後の小集団指導場面でした。

旅路は続く～小学校卒業おめでとう～

困ったら相談する。自分一人で抱え込まずに。0か100ではなく、ときには「まあ、いいか。」でやってみる。試してみる。何より「肯定的」な自分・相手理解ができるようにする。こんなことに取り組んできたそれぞれの時間だったと思います。3月の指導の中で何年か前の自分を振り返ったとき「そんなこともあったなあ。でも今は～ができる。」今の後輩をみて「大丈夫。そのうちあいつらもわかるよ。」という発言がありました。幼くて不安定だった「自分」はいろいろな人からの「愛」をもらって大きく成長し、次の旅路へと向かう準備ができたように感じます。旅路は続きます。かがやき6年生小学校卒業おめでとう! 気を付けていってらっしゃい!